

2026

No.106

山本左近 NEWS

令和8年 7月 17日 発行所：山本左近政策研究会

〒440-0806愛知県豊橋市八町通1丁目14-1 Tel. 0532-21-7008 Fax. 0532-21-7003

106号

副首都法案で変わる日本
一極集中から多極分散へ

7月17日を会期末とする第21回特別国会も最終盤を迎えています。その中で、日本の将来を左右する「副首都法案」が7月15日の衆議院本会議で可決されました。今回は、そのポイントを分かりやすく解説します。

《副首都法案とは》

正式名称は「国家社会機能継続性確保施策及び副首都の整備に係る施策の推進に関する法律案」。とても長い名称ですが、その目的は明快です。

首都直下地震や富士山噴火などにより東京の中枢機能が停止した場合に備え、行政機能などを担う「副首都」と「首都中枢機能代替地域」を整備することです。

しかし、この法案の価値は有事への備えだけではありません。平時から地方への民間投資を促し、「多極分散型経済圏」を形成することも大きな狙いです。また、審議では情報通信技術の活用も盛り込まれました。災害時には庁舎だけでなく、行政を支える情報システムや通信環境を維持することも不可欠からです。

《大阪都構想との違い》

「大阪都構想」は、大阪の二重行政を解消するための地方制度改革でした。一方、今回の法案は、日本全体

の危機管理体制を強化し、経済や行政機能を分散する国政レベルの制度です。

現在、大阪、愛知（名古屋圏）、福岡、北海道（札幌）などが指定に意欲を示しています。しかし、この制度は特定地域の利益を競うものではありません。国全体の安全保障と持続的な成長につながる制度として、公平で透明性のある運用が求められます。

《指定地域に期待される役割と今後の課題》

指定地域には、大きく二つの効果が期待されます。

第一に、「国のお墨付き」により民間投資を呼び込みやすくなることです。法案には規制緩和や税制措置が盛り込まれ、企業がBCP（事業継続計画）の観点から本社機能やデータセンターなどを移転・分散する後押しとなります。

第二に、国の予算を活用したインフラ整備が進み、防災力と地域経済の強化につながることで、候補地の強みはそれぞれ異なります。大阪は都市機能と準備実績、愛知は日本最大のものづくり基盤、福岡は首都圏との同時被災リスクの低さが強みです。

一方で、平時からどこまで機能を分散させるのかという実効性や、「結論ありき」との疑念を招かな

い客観的で透明性の高い選定基準の確立が今後の課題です。

《東三河が担う「支える力」》

この議論は、東三河にとっても決して他人事ではありません。

三河港は、完成自動車の輸入台数・金額で33年連続日本一、輸出も名古屋港に次ぐ全国2位を誇ります。首都圏の港湾が被災した場合、日本の物流を支える重要な役割が期待されます。また、名豊道路は津波の影響を受けにくい高架構造で三河港と直結しており、有事の輸送路としても大きな強みがあります。さらに、田原市は全国有数の農業産出額を誇り、食料供給の面でも日本を支える地域です。

《平時も有事も支え合える国へ》

一方で、東三河自身も南海トラフ地震への備えが欠かせない地域です。だからこそ、「代替拠点」「被災地」という二者択一ではなく、全国各地がそれぞれの強みを生かし、互いに支え合える多極分散型の国づくりを進めることが重要だと考えます。

平時も有事にも強い日本列島をつくるため、この「副首都法案」が成立後に実効性ある運用に向け、全力を尽くしてまいります。

衆議院議員

山本左近



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram



やまもと・さとし

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。44歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧24歳、当時日本人最年少F1ドライバードビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語スペイン語を話すマルチリンガル。



資料解説

副首都構想について

2月18日から始まった第221回特別国会も7月17日に150日目を迎えました。2期目の当選をさせて頂いてから、走り続けてきた150日間。これまで活動を支えてくださった皆様、山本左近ニュースを手に取り読んでくださった皆様に心から感謝申し上げます。特に、朝の駅頭にて、通勤・通学中に、手に取ってくださり、本当に嬉しいです。「勉強になった」「分かりやすかった」などお声かけいただき、皆さんに政治に関すること等を少しでも分かりやすくお伝えできるよう、これからも積極的に発信し続けて参ります。

日本の未来を守る・創る：副首都機能の整備推進法案の全貌

日本の課題：東京一極集中とリスク

東京一極集中の是正とリスク分散

災害時に首都機能が停止するリスクを回避し、経済格差と少子化を解消します。

副首都の理念：成長と代替の両立

成長の力：経済の牽引 **代替の力：東京の機能の代替**

副首都の2つの役割：成長と代替

日本経済を牽引する力と、東京の機能を代替する力の両立を目指します。

具体的な施策と環境整備

インフラ整備と移転 **行政機能の移転** **魅力的な都市形成**

規制緩和、交通網整備、国の行政機関の移転を戦略的に実施します。官民が連携し良好な子育て環境を備えた魅力的な年を形成します。

推進体制：総理主導の強力な連携

内閣総理大臣をトップとする推進本部

内閣総理大臣（本部長）
国（全閣僚）
地方公共団体

総理を本部長とし、全閣僚が参加する強力な体制を構築します。法施行後1年以内を目途に地域を指定し、地方公共団体と協議を行います。

開会中も土日は、地元で活動しています。気軽にイベントなどにお声かけください！



ミニ集会も引き続き継続して開催中。
7月25日は杉山と東陵の生涯学習センター。
7月26日は、石巻生涯学習センターにて開催予定です。
皆様のご参加、お待ちしております！

新しくなった豊橋の市民文化会館にて開催された東三河部芸能大会に出席しました。歌舞伎の音楽である伝統的な長唄から始まったプログラムは、フラメンコもある東西幅広い文化イベントでした。演者さんの皆さんともお話しさせていただきました。

国会も最終盤となり、党本部で開催される各部会や調査会もラッシュの時期は終わりましたが、継続して部会等に出席。教育立国調査会に新たに設置された「AI時代における人間力プロジェクトチーム」の事務局長代理に就任しました。

政府が窓口となる外交と別に、自民党に各国大使や外交官の皆さんをお招きし、積極的に交流の機会を作っています。自民党の国際局次長として、幅広い地域の皆さんと積極的にコミュニケーションを取っています。海外経験が長いこと、英語やスペイン語が話せること、何より元F1ドライバーの強みが活かせる分野の一つです。

JAPAN as No.1 Again!
日本を再び世界一の国へ